

光が丘だより



卒業をお祝いする会にて

施設長 野沢 修一

岩見沢市内も3月に入ってから、例年よりも早いペースで雪解けが進んでいます。街中もすっかり雪がなくなり、春の到来を感じる今日この頃です。

さて、3月は旅立ちのシーズンでもあります。学園でも3名が高校を卒業して自立していくほか、幼稚園や小中学校を卒業する子ども達がいいます。それぞれは、4月からの新しい環境に向けて、期待と不安の中、自炊生活や進学等の準備に職員と一緒に取り組んでいます。学園では、毎年、卒業する子ども達を対象に、卒業をお祝いする会を開催していますが、今年は、3年ぶりに岩見沢市長様をはじめ、幼稚園・各学校の先生方、法人役員をお招きしてのお祝いの会を3月18日に開催したところ。会の中では、来賓の皆様から心温まるご祝辞をいただいたほか、自立する子ども達からも、これまで自分たちを支えてくれた地域の方々への感謝の言葉と、旅立つ決意を述べてもらいました。ご来賓の皆様や卒業する子ども達からの言葉は、4月からも学園で生活する子ども達にとって、大きな励みやこれからの目標になったものと思っています。

学園としても、来年のお祝いの会において、子ども達の成長を地域の皆様に見ていただければ、職員一同、この一年しっかりと子ども達の支援に取り組んでいく所存です。終わりになりますが、この度のお祝いの会に出席いただいたご来賓の皆様へ感謝申し上げます。誠にありがとうございました。

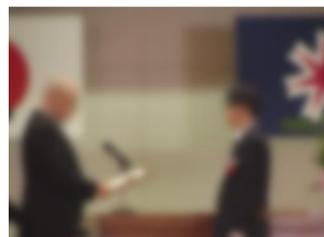
ご卒業おめでとうございます

ご卒園・ご卒業おめでとうございます。各学校の卒業式と光が丘学園卒業を祝う会は、晴れやかな笑顔でそれぞれ無事終える事ができました。お写真を掲載させていただきます。

祝う会での送辞・答辞は緊張がこちら側にも伝わってくるほどでしたが、とても素晴らしい挨拶で、立派に成長した事を実感感動しました。昼食会場では、バイキング形式で食事を楽しみながら恒例のスライドショーを鑑賞しました。1年間の思い出の写真を振り返り、皆が笑顔になる心温まる時間でした。



卒業式



ホームページ掲載の卒業式関連の写真についてはモザイク処理をしています。

幼児さん サンピアザ水族館へ

電車に乗っておでかけは初めての子も、小さい頃に乗ったことがある子も大喜びで、すれ違う電車が嬉しかったり、揺れるドキドキを楽しんだりそれぞれの楽しみ方をしていました。ドクターフィッシュにためらいなく足を入れる子や、ヒトデなどの水槽に恐る恐る手を入れる子など水族館でもいろいろな子どもの姿がありました。静かだった電気ウナギは、みんなで近づくと怒ってビリビリ...、それも面白い経験になりました。

—幼児グループ担当 浜浦早希—



お別れ会

3月21日に学園を旅立つ3名の卒園生を気持ちよく送り出すため、数年ぶりにみんな揃って夕食会を開きました。残念ながらS君は参加できませんでしたが、寿司や、ピザ等をほおぼりながら、RさんR君の学園での思い出や、みんなに伝えたい事を照れながらも話すのを聞き、最後には幼児さんの可愛いダンスもあり楽しく過ごすことが出来ました。みんなで3人のこれからの活躍を願っています。

—男子グループ担当 久慈正明—



退職する職員の紹介

令和4年3月31日を持ちまして、
〈児童指導員〉:南圭輔先生、大浦志帆先生
〈保育士〉:吉野桃子先生、前川梢先生、泉恵里香先生
〈心理士〉:中川理恵子先生
〈子ども家庭支援センター相談員〉:宮向悦子先生
が退職されました。子ども達の支援にご尽力いただき、感謝申し上げます。今後の益々のご活躍を心よりお祈り申し上げます。

4月行事予定

- 6日 南小学校 入学式
- 7日 駒沢幼稚園 始業式
- 8日 駒沢幼稚園 入園式
- 22日 町内会お楽しみ会
- 29日 光が丘誕生日会

ご厚志ご寄贈など感謝申し上げます(3月1日~31日)

(ご芳名もれをお許しください)

(株)公南山明建設様、阿弥陀寺様、ピクトリア観光岩見沢店様、光陵中学校校長 宮本千裕様、日本児童養護施設財団様、高橋工務店様、篠原欣子記念財団様、松村有格様、小野寺栄美子様、松岡美和(評議員)様、川口紀子(監事)様、菊地支郎(評議員)様、岩見沢社会福祉協議会 村上勝則様、塚田義昭(評議員)様、岩崎俊博様、駒沢幼稚園園長 綱瀧秀幸様、



お誕生日おめでとうございます!



3月2日にSちゃんのお誕生会をびっくりドンキーで行いました。女子グループ全員でおしゃべりをしながら楽しい会食となりました。

Sちゃんお誕生日おめでとう!!

—女子グループ担当 前川梢—

光が丘子ども家庭支援センターより

まともとなる3月は、今年度よりコーディネーターとして関わることになったヤングケアラーに関する事が多かったように思います。4日(土)は江別市での「ヤングケアラー白書2023」という研修に参加しましたが、当事者の話を伺うことができました。また、15日(水)には岩見沢市生涯学習センター「いわなび」での「令和4年度家庭教育指導者育成講座」に講師として招かれ、『ヤングケアラー～見えてきたもの～』というタイトルで2時間程お話をさせていただきましたという貴重な経験もできました。人に伝えることで、自分の中でより深めることにも繋がりました。

通常業務に加え、ヤングケアラー関連が加わった1年でしたが、今年積み上げたものを次年度により高めていけるよう、これからも皆で取り組んでいきます。

—子ども家庭支援センター 主任相談員 浅沼 寿実—

里親支援専門相談員より

3月5日(日)に未委託里親等トレーニング事業の研修として『育ててくれてありがとう』の上映会を実施しました。当日は里親子、関係者も含めて35名の参加がありました。劇中の「真実告知」については「子どもがわかる言葉でしっかり伝えること、できるだけ早く伝えること、愛情を一番に伝えることが大切」、「うまく伝えていて里親、子どもも落ち着いて受け止めているところが良かった」、「それぞれのパターンがあり、自分たちとの違いについても考える事ができた」等多くの感想が寄せられました。また、今後このような取り組みを行いたいと思います。

—里親支援専門相談員 浅山 美保—